



News Letter

日本小児歯科学会九州地方会

日本小児歯科学会九州地方会 会長挨拶

公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会 会長
空田 安博



故 牧 憲司先生を偲んで

令和4、5年度の日本小児歯科学会九州地方会会長を拝命しました北九州市で開業しています空田安博と申します。橋本敏昭先生が会長をされた平成18年から長きにわたり今まで九州地方会の役員を務めさせて頂いております。尾崎前会長並びに山崎前会長の時に2期副会長を務めさせて頂きました経験をもとに、2年間会長として九州地方会運営に最善を尽くしてまいりたいと決心している次第です。

会員の皆様におかれましては、日頃より会務の運営ならびに事業へのご協力、ご助言を賜り誠にありがとうございます。

さて、令和4年3月31日に九州歯科大学口腔機能発達学分野牧憲司教授が外来診療中に心不全により急逝されました。突然の出来事であり私もこの事実を今でも受け入れられない心の状態にあります。謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共に、先生との思い出を書かせていただき追悼とさせていただきます。

牧先生との出会いは、同じ鹿児島県出身だった内上堀助教授の勧めで昭和63年に小児歯科学講座の助手として入局された時でした。既に私は大学院を卒業して昭和62年から小児歯科の助手になり先輩と後輩という関係でした。当時、昭和54年に小児歯科学講座が開設されて初代木村光孝教授の指導の下、教育、診療、研究が活発に行われていました。先生は教育面では5年生の小児歯科講義並びに実習、6年生の病院臨床実習を新任助手として準備を担当してもらいました。臨床面では入局当初から分からないことがあれば問題解決のために率先して先輩たちに積極的に聞き治療に役立てていました。基礎研究では犬の歯内療法とラッ

トの食事療法による顎骨への影響、臨床的研究では小児の咬合力と顎骨への影響を研究していました。そして本格的な基礎研究は口腔生化学野口知雄教授の下で行い、平成9年7月に「胎生期ウシ気管軟骨の基質小胞様小胞に関する研究－新しいタイプの基質小胞について－」で歯学博士を取得されました。

この様に牧先生は大学院へ行かずに助手からたたき上げたバイタリティ溢れる行動力により平成18年7月に第二代口腔機能発達学分野（旧小児歯科学）教授に就任しました。その後も朝4時に起床し大学に行き、誰にも邪魔されない時間帯で仕事をしていました。医局員も徐々に増え研究面では、骨や歯などの硬組織を中心にした研究を継続・発展させるとともに臨床へフィードバックできるように目標設定していました。基礎講座を含め多くの他の講座と共同研究を行い、より充実した研究や科学的なものの考えのできる臨床家を育成してきました。さらに平成24年から北九州小児歯科臨床研究会を立ち上げ牧先生の指導の下、臨床的な研修会を精力的に重ねてきました。九州歯科大学の管理職としては平成28年29年附属図書館長、令和元年から九州歯科大学副学長・理事に就任されております。

令和2年日本小児歯科学会理事長として就任され、理事長として2期目を目前に逝去されたのは誠に残念でなりません。私と牧先生は個人的には入局した時からお互いに夜は酒を酌み交わし、35年の無二の親友であり、何時も大学の外から応援し続けて来た間柄でした。

最後になりましたが今後ますますのご支援ご協力頂きますよう何卒よろしく申し上げます。

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



今村歯科医院 院長
今村 均

今期より2年間の任期で、九州地方会副会長を拝命致しました今村均と申します。力不足、経験不足ではございますが、空田会長はじめ当会関係の方々にも少しでもお役に立てればと願うばかりです。

さて私事になりますが、北九州市八幡において診療所を開業し、八幡歯科医師会の地域保健委員会に20年ほど携わって参りました。当地においては子供たちのカリエス軽減のため、約半世紀前からフロリアートを用いたフッ化物塗布事業が全公立小学校で行われています。さらに本年からは、より高い効果が期待されるフッ化物洗口事業へとブラッシュアップしていくことが決定しました。

奇しくも昨年度の第39回九州地方会大会にて、「子どもたちをう蝕から衛る～フッ化物洗口を通じて～」と題した教育講演を品川光春先生から頂

く機会を得ました。更に九州には、佐賀県をはじめフッ化物洗口法を早くから取り入れている県も多く、本会所属の先生方から経験談を伺う機会にも恵まれてきました。まだ福岡県では走り始めの本事業ですが、頂いた知識を活かしてフッ化物洗口法の普及に努めて参りたいと思います。

最後になりましたが本年3月、学生時代から大変お世話になりました牧教授が急逝されました。残念至極でございます。今でも「先生、元気になっていますか？」とお声が聞こえてくる気が致します。後は牧教授のご意志を継ぎ、本会の先生方と手を携えて、本会と小児歯科学の発展にわずかでもお手伝いできたらと考えておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



九州大学大学院 口腔医学分野 教授
福本 敏

前回に引き続き副会長を拝命いたしました福本です。これから2年間、空田会長のもと活動してまいりますのでよろしくお願いいたします。

今年は九州地方会にとって大変悲しい出来事がありました。3月末に牧 憲司教授が、4月末には藤原 卓教授が急逝されました。未だに気持ちの整理がついておりませんが、九州地方会の発展に尽力することが、両先生のお気持ちに応えることに繋がるものと考えております。牧教授の追悼文に関しては、空田会長がご担当されますので、私は藤原先生との思い出を述べさせていただきたいと思っております。私は長崎大学の出身であり、藤原先生が長崎大学の教授として赴任された時からの繋がりです。私が九州大学、東北大学と移動しても、毎年大学院講義に呼んでいただき、医局の皆

さんと懇親を深めながら、長崎を離れても長崎大学の教室員のように接していただきました。藤原先生のことを一言で表現しますと、「決して人のことを悪く言わない」方でした。そしてその人間性が、国際小児歯科学会の役員としての活動の中でも、他国の多くの先生が Taku! といって慕っていたところなのだろうと思います。最後まで藤原先生は長崎での学会開催を楽しみにしておりました。その思いを引き継ぎ、来年の全国会は私どもでしっかりサポートしながら進めていきたいと思っております。

これからも会員の皆様に協力いただきながら、九州地方会の発展に貢献できればと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

福岡歯科大学成育小児歯科学分野教授退任の挨拶



福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野
尾崎 正雄

この度、福岡歯科大学成育小児歯科学分野の教授を退職するにあたって、一言、九州地方会会員の皆様にご挨拶と感謝の気持ちを述べさせていただきます。私は、今から41年前、故吉田 穰教授の誘いで福岡歯科大学小児歯科学教室に入局いたしました。私は第1回の九州地方会大会（福岡歯科大学担当）から参加させていただきましたが、当時の学会は懇親を深めるため大学対抗ソフトボール大会が開催されていました。私も（半強制的に？）参加いたしました。当時は九州大学の小児歯科の独壇場で、真っ白な本物のユニホームを着て参加されていたことにプレッシャーを感じていました。今でも、初代教授（吉田教授、木村教授、中田教授、後藤教授そして小椋教授）の元気で運動場を走り回っていた頃を思い出します。そ

れからは大学対抗かくし芸大会となり、夜の懇親会を盛り上げていただきました。本当に楽しい思い出ばかりです。日本小児歯科学会九州地方会も今年で40周年を迎えることとなります。ぜひ九州地方会が仲良く、子どもたちの健康を守ることを念頭に運営されて行かれることを望んでいます。

入局当時はむし歯の洪水の真ただ中で、毎日むし歯の治療とメタルインレーの技工に明け暮れていた毎日を思い出します。このような混乱期中で、医療事故もなく41年間を過ごせたことは、本当にラッキーでした。これからも小児の齲蝕治療の在り方について考え指導していくつもりですので、よろしく願いいたします。

教授就任挨拶



福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野
岡 暁子

九州地方会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、令和4年4月1日をもちまして、福岡歯科大学 成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 教授を拝命いたしました岡 暁子（きょうこ）でございます。尾崎正雄教授をはじめ、これまで支えてくださいました皆様に、この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。

はじめに、日本小児歯科学会理事長でいらっしやいました九州歯科大学口腔機能発達学分野 牧憲司教授、そして長崎大学歯学部小児歯科学分野 藤原 卓教授に心からの哀悼の意を捧げます。教授という新しい任務について、直接ご指導いただく機会を失ったことが残念でなりません。九州地方会を、そして本邦の小児歯科医療を牽引してこら

れたお二人の先生のご意思をしっかりと受け継げるよう頑張っております。

新型コロナウイルスという未曾有の感染症によって、子ども達を取り巻く環境は大きく変化しました。マスク生活の日常が、齲蝕、そして口腔機能発達を含めた子どもたちの口腔の問題を不顕化させ、介入が遅れてしまうことが危惧されています。With コロナの今、現状をしっかりと分析し対策を打ち出していくことが、Post コロナに課題を残さないために大切なことと考えております。これからの小児歯科医療を支えていく教室の若い先生と一緒に、現在の様々な課題について考え学びながら、小児歯科学発展のために励んでまいります。今後とも変わらずご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

第39回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会開催報告

第39回九州地方会大会は、令和3年11月28日の出島メッセ長崎での小規模集會およびその後一週間のリモート（オンデマンド）配信というハイブリッド形式にて、藤原 卓大会長の下、開催されました。

午前の小規模集會には、長崎県在住会員30名あまりがお集まり下さり、佐世保市ご開業の品川光春先生によるフッ化物洗口に関する教育講演（兼認定歯科衛生士研修セミナー）を聴講しました。このご講演は、同時ライブ配信も行いました。

午後からはオンデマンド配信とし、福岡歯科大学 尾崎正雄先生による小児歯科治療に必要な心理的知識に関する記念講演、大阪大学 岡真裕美先生による子どもの事故に関する特別講演の動画配信、同時に企業提供セミナー、ポスター発表（26題）なども公開開始しました。オンデマンド配信は12月5日まで継続し、最終的に正会員278名、歯科衛生士・その他28名にご参加いただきました。

本大会のテーマ「子どもたちを衛る（まもる）」は、「衛」という字が「衛生」の「衛」であること、生きることを「衛る」ことが小児歯科にとって重要なテーマであることから藤原大会長が掲げられました。素晴らしいご講演やご発表を拝聴し

ておりますと、全てにこのテーマが息づいているようで、「衛る」という言葉の深淵を感じ取ることができたように思います。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって多くの地方会がリモート配信に踏み切られる中でのハイブリッド形式の選択は、運営側として勇気の要ることでした。開催まで感染状況を見ながら一喜一憂する毎日をご過ごし、第5波のピークであった8月末には小規模集會を断念することも頭をよぎりました。幸い、開催の時期は第5波が収束に向かっており、万全の対策も相まって、小規模集會およびオンデマンド配信の双方を滞りなく開催することができました。

2022年4月26日に藤原教授は永眠されました。第39回日本小児歯科学会九州地方会大会は、私達医局員にとって、藤原教授と共に成し得た最後のイベントとなってしまいました。集合写真を拝見しますと、ハイブリッドでやれて良かったという思いが涙と共にこみ上げてきます。本大会の開催にあたり、また藤原教授が長年賜りました多大なご支援、ご厚情に対し、藤原教授に成り代わりまして心より感謝申し上げます。

（第39回日本小児歯科学会九州地方会

準備委員長 田上 直美 記）



第40回九州地方会大会及び総会開催案内

大会長：福本 敏
(九州大学大学院歯学研究院 小児口腔医学分野)

この度、第40回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会を下記のように開催させていただきます。感染対策を万全にすうえで、3年ぶりの現地開催を予定しております。技術系セミナーも含めた多様な内容を準備しております。大会参加費は無料です。奮ってご参加ください。教育講演として、東北大学流体科学研究所教授であり、かつ JAXA 角田宇宙センター主幹研究開発員でもある伊賀由佳先生にご講演いただきます。また、午後の市民公開講座では落語家の林家つる子さんが登壇されます。複数受賞歴のある林家さんは、古典落語を女性目線で描き直す取り組みにも意欲的で、テレビ出演や動画配信にも力を入れていらっしゃいます。減多にないこの機会にぜひご聴講ください。

大会テーマ：人生100年時代に向け小児歯科医療の新たな展開～持続可能な口腔管理とは～

1. 開催日時：令和4年11月13日（日）
2. 開催場所：福岡県歯科医師会館（福岡市）
3. 大会内容
 - 1) 記念講演：山崎 要一 先生（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野教授）
 - 2) 教育講演：伊賀 由佳 先生（東北大学流体科学研究所教授/JAXA 角田宇宙センター主幹研究開発員）
 - 3) シンポジウム①（松風協賛）：福本 敏 先生（九州大学歯学研究院 小児口腔医学分野教授）

- 4) シンポジウム②：岡 暁子 先生（福岡医科大学成長発達歯学講座 成長小児歯科学分野教授）「子どもたちの口腔機能発達を難しくする要因」
- 5) 市民公開講座：林家 つる子 さん（落語家）
- 5) 専門医からの症例報告 9例
- 6) テクニカルセミナー①②（松風協賛）：大会ホームページよりお申込みください。
- 7) ランチョンセミナー（グリコ協賛）：土岐志麻 先生（とき歯科医院）「口腔機能発達不全症とその改善方法について」
- 8) 一般演題：ポスター発表。大学院生の発表に、SHOFU スチューデントアワードを実施します。
- 9) 専門医・認定医更新プレゼンテーション
- 10) 認定歯科衛生士更新プレゼンテーション
4. 大会参加費：無料（専門医・認定医等更新審査料等は別途必要です）
5. 懇親会：令和4年11月12日（土）19時開始予定（懇親会費は別途必要です）

準備委員長 小笠原 貴子（九州大学病院小児歯科・スペシャルニーズ歯科）
メールでのお問い合わせは運営事務局までお願いします。
E-mail：jspd.kyushu40@kokuhoken.jp
大会ホームページ：https://shonishika.jp/kyushu40/

第41回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のご案内

第41回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は、福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野が担当いたします。会場は、令和4年7月に新築されました福岡歯科大学・50周年記念講堂を予定しております。皆様のご協力とご参加を何卒宜しくお願いいたします。

大会テーマ 「輝く Smile を届けよう！～未来を拓く子どもたちへ～」
大会長：岡 暁子

準備委員長：馬場 篤子
月 日：2023年9月24日（日）
場 所：福岡歯科大学・50周年記念講堂
役員会：2023年9月23日（土）16時～
場 所：福岡県歯科医師会館
懇親会：2023年9月23日（土）役員会終了後開催予定
事務局：福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野

令和3年度 日本小児歯科学会九州地方会 収支報告書

単位 円

収入

日本小児歯科学会より入金	1,689,022
第39回日本小児歯科学会九州地方会大会余剰金	19,868
利息	9
計	1,708,899

支出

第39回日本小児歯科学会九州地方会大会援助金	500,000
ニュースレター印刷費・郵送費	241,015
ホームページ管理・更新費	176,550
事務費（通信費・振込手数料）	69,740
日本小児歯科学会本部への寄付金	721,594
計	1,708,899

令和4年3月28日

上記の決算に間違いがないことを証明します。

会計監査 奥 猛志

会計監査 村上 大輔

第39回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会収支報告

(会計期間2021年8月6日～2022年1月24日)

(2022年2月25日)

【収入】

日本小児歯科学会九州地方会より補助金		¥500,000
大会参加費	歯科医師 5,000円×278名	¥1,390,000
	コデンタル 2,000円×28名	¥56,000
	資格更新参加費 3,000円×20名	¥60,000
協賛金		¥100,000
企業広告		¥180,000
合計		¥2,286,000

【支出】

会場費		¥523,985
業務推進費		¥1,433,159
大会運営費		¥157,220
印刷費		¥11,561
講師謝礼		¥100,233
通信費		¥18,422
物品費		¥16,112
雑費		¥5,440
余剰金(地方会へ返金)		¥19,868
合計		¥2,286,000

繰越金 ¥0

上記の通りご報告申し上げます。

日本小児歯科学会第39回九州地方会大会

大会長 藤原 卓
会 計 荒井 孝子

会計監査の結果、適正に処理されていたことを認めます。

会計監査 奥 猛志
村上 大輔

2022年3月28日

令和3年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会第1回役員会議事録

開催日時：令和3年4月18日（日）10時～11時20分

開催方法：Zoom 会議

出席者：山崎 要一、空田 安博、福本 敏、
尾崎 正雄、牧 憲司、藤田 優子、
小笠原貴子、岡 暁子、田上 直美、
稲田 絵美、久保山博子、今村 均、
舩元 康浩、高風亜由美、森 奈千子、
木船 敏郎、井上浩一郎、柳田 憲一、
西田 郁子、石谷 徳人、奥 猛志、
岩崎 智憲、柳澤 彩佳、村上 大輔
欠席者：藤原 卓、宮川 尚之、竹島 勇
(敬称略)

進行：稲田庶務幹事が行った。

1. 開会の辞

空田副会長が開会の辞を述べられた。

2. 会長挨拶

山崎会長が会長挨拶を述べられた。

3. 議長選出

今回は Web 会議であったことから、山崎会長が進行することとなった。

4. 報告事項

- 1) 山崎会長が資料1をもとに令和3年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会役員を紹介した。西口美由季先生の後任に田上直美先生、橋本敏昭先生の後任に久保山博子先生が就任されることについて説明があった。また、田上直美先生と久保山博子先生から就任のあいさつがあった。
- 2) 田上大学代表幹事が資料2をもとに第39回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の準備状況について説明した。日時が2021年11月28日（日曜日）であること、会場が出島メッセであること、開催方法等の最終決定は6月末頃になること、現時点では現地開催とリモートのハイブリット開催を前提として準備中であることについて報告があった。
- 3) 福本副会長が第40回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の開催について説明した。日時を2022年11月13日（日曜日）で予定しており、会場は歯科医師会館を検討しているが、予約状況によっては博多シティでの開

催も検討すること、コロナウイルスの感染拡大状況を考慮して開催方法を決定することについて報告があった。

4) 山崎会長が資料3をもとに今年度の地方会大会の参加ポイントについて説明した。資格認定、更新時等のための地方会大会参加ポイントは2大会までとなること、参加証をもって参加の証明になることについて報告があった。

5) 山崎会長が資料4をもとに倫理審査予備審査員について説明した。倫理審査予備審査員は各地方会から2名ずつ選出されていること、研究倫理審査の申請についてのアドバイザーとしての役割も担うことについて報告があった。

5. 審議事項

- 1) 稲田庶務幹事が資料5をもとに令和2年度日本小児歯科学会九州地方会会計について報告した。
- 2) 稲田庶務幹事が資料6をもとに第38回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の会計について報告した。昨年度は大会を開催することができなかったが、既に準備が進んでいたため、準備に要した費用の内訳について説明があった。
- 3) 奥監事、岩崎監事から1)ならびに2)に関する会計監査の報告があり、賛成多数で承認された。
- 4) 山崎会長が資料7をもとに令和3年度九州地方会事業計画について説明し、賛成多数で承認された。
- 5) 稲田庶務幹事が資料8をもとに令和3年度九州地方会予算案について報告し、賛成多数で承認された。
- 6) 稲田庶務幹事が資料9をもとにニュースレターの発刊について報告した。今年の2月に徳島大学小児歯科学分野教授に就任された岩崎監事の就任あいさつを掲載することが提案され、賛成多数で承認された。
- 7) 山崎会長から岩崎監事の後任として村上広報幹事を推薦し、これに伴い柳澤会計監事が広報幹事も兼任することについて提案があり、賛成多数で承認された。

8) その他

- ・石谷特別幹事から、事業計画内に記載されている「一般歯科医師（小児歯科標榜医）への新認定医制度の啓発」という表現が適切ではないとの指摘があり、「一般歯科医師への研修・資格取得支援による小児歯科医療の地域格差是正」に修正することとなった。
- ・福本副会長から、運営と監査は分けることが適切であるため、監事は運営以外から選出することが望ましいことを提案され、次期会長からご考慮いただくことで承認された。
- ・木船県代表幹事から、専門医セミナー、専門医・認定医合同セミナーの開催予定に関する質問があり、奥監事から専門医機構との兼ね合いで各種決定が難しくなっている状況であり、近日中に開催される専門医委員会で開催される会議で情報収集し、会員に情報発信していく予定であると説明があった。
- ・木船県代表幹事から、第39回日本小児歯科学会九州地方会大会の際、ポスター発表に関する質疑応答が web 上で可能か否かの質問があり、田上大学代表幹事から本会から配布されている地方会大会の実施マニュアルに従って運営される予定であり、質疑応答はチャットの形式になる可能性があるが、詳細については今後検討する予定であると説明があった。
- ・木船県代表幹事から、倫理審査に関する相談を倫理審査予備審査員に相談する前段階として、その役割を各県1名の専門医指導医に委託することを検討できないかとの提案があり、話し合いの中で各県の専門医指導医や出身大学の先生、懇意にしている大学の先生に事前に相談した後に倫理審査予備審査員へ相談する流れが良いのではないかという結論に至り、賛成多数で承認された。この内容についてはニュースレターで広報することとなった。
- ・牧常任理事から、学会として学術発信を積極的に継続すること、学会ホームページがリニューアルすることが報告された。

6. 監事総評

- ・奥監事から、監事交代については地方会大会の総会で承認を得ることが望ましいこと、専門医の単位等については専門医委員

会でフローチャートの作成を提案してみる
とのこと、倫理審査については最終的には
大学所属の先生が確認することが望ましい
が、その前段階で専門医指導医が関わる
ことも必要なことであること、新しい学会
ホームページが情報発信に活用されること
を望むとの総評を頂いた。

- ・岩崎監事から、倫理審査については倫理審査予備審査員に相談する前に大学所属の先生等に事前相談することが現実的であるとの総評を頂いた。

7. 閉会の辞

福本副会長が閉会の辞を述べられた。

役員会後、奥監事から「専門医認定委員会からの報告」について以下の通り報告があった。

- ・令和3年度のセミナーは、9月に専門医・認定医合同セミナー、12月もしくは来年1月に専門医セミナー、いずれもWEB開催の予定であり、合同セミナーは専門医機構に共通研修として認可してもらうよう申請中である。

1. 共通研修は年に2単位取得する（2単位しか取得できない）必要がある。
2. 2単位取得を5年間継続しないと専門医機構の認定は受けられない。
3. 本年度のみ、昨年度を含めた4単位の取得が可能である。
4. 学会の専門医セミナー、専門医認定医合同セミナーが共通研修に認定される可能性がある。
5. 共通研修への認定はいつ知らせがくるかわからないが（セミナー後のことすらある）、知らせがあれば会員にお知らせする。
6. 59回大会のセミナー2つ（水田先生、栗原先生）を申請しているので、受講しておいた方がいい。
7. 専門医機構主催の共通研修は小児歯科学会のセミナーで2単位（本年度は4単位）がそろわないときに受講する必要がある。
8. 本年度は専門医認定医合同セミナーを9月に、専門医セミナーを冬にWEBで企画している（共通研修に認定される可能性があるが現段階ではわからない）。
9. 専門医認定医合同セミナーあるいは専門医セミナーを5年間で2回（4講演）受講しなければならないことは以前のままである

・学会発表における専門医指導医による相談に関しては、九州地方会として行うことは問題ないと考えられる。ただし、専門医指導医更新の際に提出する専門医指導医活動実績（第16号様式）に該当するかについては研究倫理委員会で承認を受ける必要がある。

（専門医指導医活動実績に関しては、更新の際の必須項目ではなく、具体的な内容や単位も規定されていない。）

令和3年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会第2回役員会議事録

開催日時：令和3年11月21日（日）10時～11時20分

開催方法：Zoom 会議

出席者：山崎 要一、空田 安博、福本 敏、尾崎 正雄、牧 憲司、藤原 卓、藤田 優子、小笠原貴子、岡 暁子、田上 直美、稲田 絵美、久保山博子、今村 均、舩元 康浩、高風亜由美、森 奈千子、木舩 敏郎、井上浩一郎、竹島 勇、奥 猛志、西田 郁子、石谷 徳人、村上 大輔

欠席者：宮川 尚之、柳田 憲一、柳澤 彩佳
（敬称略）

進行：稲田庶務幹事が行った。

1. 開会の辞

福本副会長が開会の辞を述べられた。

2. 会長挨拶

山崎会長が会長挨拶を述べられた。

3. 議長選出

今回は Web 会議であったことから、山崎会長が進行することとなった。

4. 報告事項

1) 藤原常任理事から、第39回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の準備状況について報告があった。役員会の時点で参加登録人数が約210名であること、ポスター発表が26題であること、午前の教育講演はリアルタイム配信、午後の講演やポスター発表は事前収録したものを配信する形式になることを説明された。

2) 福本副会長から、第40回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の準備状況について報告があった。開催日は2022年11月13日

（日）、開催場所は福岡県歯科医師会館、大会テーマは「人生100年時代に向け小児歯科医療の新たな展開～持続可能な口腔管理とは～」、大会長は福本 敏先生、準備委員長は小笠原貴子先生が務めること、講演者は現在交渉中であること、午後は北日本と合同企画を検討中であること、現時点では対面での開催を前提に準備を進めていることを説明された。

3) 山崎会長から、ニュースレターの発刊について報告があった。今年度は8月31日に発刊されたことを説明された。

5. 審議事項

1) 稲田庶務幹事から、資料1に基づき第39回日本小児歯科学会九州地方会総会の式次第について説明があった。今回の大会は web 開催となっているため、総会の内容はパワーポイント動画で配信されること、会員からの異議については九州地方会事務局にご連絡いただくこと、異議がなければ総会の内容に関して会員の承認を得たこととする旨が承認された。

2) 山崎会長から、次期会長として空田副会長の推薦が提案され、承認された。空田次期会長から時期副会長として福本敏先生と今村均先生、監事として山崎要一先生、尾崎正雄先生、事務局として九州歯科大学、庶務幹事として渡辺幸嗣先生が推薦され、承認された。また、山崎会長が、近日中に次期県代表幹事の推薦に関するお知らせを送る予定であることを説明された。

3) 空田次期会長から、第41回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の開催について、福岡歯科大学に担当をお願いしたい旨が説明され、承認された。また、尾崎常任理事

が、附属病院新築に伴い建設される記念講堂で大会を開催する予定であること、開催時期については福岡歯科大学小児歯科学分野次期教授と相談して決定する予定であることを説明された。

4) 山崎会長から、次回以降のニュースレターの内容について、尾崎常任理事の退任のご挨拶の掲載と小児歯科学会全国の新任教員のご挨拶掲載について提案があり、承認された。また、木船県代表幹事から、全国の地方会で同様の取り組みを進めた方がよいとの提案があり、まずは九州地方会で実施した実績を作ってから全国に提案をするという方針で承認された。

5) その他

- ・木船県代表幹事から、来年度地方会大会の参加費が無料になることについて、再来年の対応はどのようになるのかという質問があり、牧理事長が、来年度以降の本会会計の収支状況を鑑みて検討していく予定であることを説明された。
- ・木船県代表幹事から、第39回九州地方会大会ならびに第60回日本小児歯科学会大会の演題募集に関する、会員に向けたメールや書簡でのお知らせがきていないことに対する改善の余地について質問があり、牧理事長が、会員に向けた啓発不足については白

川先生とも相談し、適宜対応されると説明された。また、広報担当の石谷特別幹事が、全国大会、地方会大会の参加登録に関するアナウンスは、従来年4回定期配信されているメールマガジンの中でアナウンスするのが基本になるが、大会事務局からの依頼があればメールマガジン特別号の個別配信は可能であると説明された。

- ・牧理事長が、現在オンラインシンポジウムが開催中であること、学会ホームページでもインフォメーションで様々な情報を発信していること、今後も学術的な活動を継続する予定であることを説明された。
- ・石谷特別幹事が、メールマガジンの配信率が75%程度であることを説明され、メールマガジンの配信未登録者については、各地域の会員の先生間で声掛けをお願いする方針となった。
- ・石谷特別幹事が、本会のホームページが今年の12月～1月頃にリニューアルされることを説明された。

6. 監事総評

奥監事、村上監事から総評を頂いた。

7. 閉会の辞

空田副会長が閉会の辞を述べられた。

令和4年度公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会事業計画

1. 学術活動

- 1) 学術大会（第40回公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会大会）の開催
- 2) 研修セミナーの開催
上記予定で準備しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により自粛することになりました。

2. 学会活動の活性化

- 1) 表彰制度の実施と運営
- 2) 広報活動の強化
 - ① ホームページの活性化
 - ② 一般社会へ向けた広報活動の推進

③ ニュースレターの発行

3. 一般歯科医師、医師および小児歯科保健・学校歯科保健への啓発活動

- ① 一般歯科医師（小児歯科標榜医）への新認定医制度の啓発
- ② 小児科医との連携
- ③ 学校歯科医会への協力

九州地区 5 大学講座一覧

大学分野名	主任教授名	郵便番号	住 所	電話番号	FAX 番号
九州大学大学院歯学研究院 口腔保健推進学講座 小児口腔医学分野	福本 敏	812-8582	福岡市東区馬出3-1-1	092-642-6400	092-642-6468
九州歯科大学 健康増進学講座 口腔機能発達学分野		803-8580	北九州市小倉北区真鶴 2-6-1	093-582-1131	093-583-5383
福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野	岡 暁子	814-0193	福岡市早良区田村2-15-1	092-801-0411 (代表)	092-801-0692 (医局直通)
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻展開医療科学講座 小児歯科学分野		852-8588	長崎市坂本1-7-1	095-819-7674	095-819-7676
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科健康科学専攻 発生発達成育学講座 小児歯科学分野	山崎 要一	890-8544	鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	099-275-6262	099-275-6268

令和 4 年度小児歯科専門医セミナーに関するお知らせ

専門医セミナー

令和 4 年度は以下の通り開催を予定しています。

申込方法は決まり次第、学会ホームページでお知らせいたします。

日 時	2022年 7 月24日（日） 12時45分～16時
会 場	TKP ガーデンシティ広島駅前大橋 ホール 3 A
テーマ	小児の耳鼻科疾患と不正咬合
講師・演題	講師 1 宇高 毅 先生（理事長 堀医院院長 耳鼻科専門医） 「小児の鼻閉～特に扁桃肥大やアレルギー性鼻炎に関して～」 講師 2 小川 晴也 先生（小川小児歯科院長 日本矯正歯科学会専門医） 「小児の受け口：病因へのアプローチの重要性について」

日 時	2022年10月10日（月・祝日） 9時15分～12時30分 ※中部地方会翌日
会 場	富山国際会議場
テーマ	障害を持つ子どもたちの口腔外科ならびに矯正歯科治療の実際（予定）
講師・演題	講師1 富原 圭 先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科分野教授） 講師2 山田 一尋 先生（松本歯科大学歯学部附属病院育成期口腔診療部門矯正歯科前教授 あすなろ小児歯科医院・矯正歯科科長）

日 時	2022年11月27日（日） 15時開始予定 ※北日本地方会当日
会 場	北海道歯科医師会館

専門医・認定医合同セミナー

日 時	2022年9月（開催期間2週間・開始日未定）
会 場	WEB 開催
テーマ	小児での医療倫理と規範
ホームページ	2022年8月公開予定

九州地方会スタディーグループ

スタディーグループ名	代表者	事務局	担当者メールアドレス
NPO 法人 Well-Being	中村 譲治		jimukyoku@well-being.or.jp
沖縄小児歯科研究会	竹島 勇	たけしま歯科	takeshimadental@hotmail.co.jp
宮崎小児歯科臨床懇話会	菅 真弓		suga-dc@miyazaki-catv.ne.jp
宮崎障害者歯科懇談会	安部 喜郎		d-senter@mnet.ne.jp
北九州小児歯科臨床研究会	空田 安博		info@sorada.or.jp
熊本小児歯科懇話会	逢坂 亘彦	入江 英仁	e.irie@wing.ocn.ne.jp
月曜会	里村 弘子		nakatetsu2003@jcom.home.ne.jp
佐賀小児歯科研究会	梅津 哲夫		umedusika@mbn.nifty.com
小児口腔医療研究会	尾崎 正雄	福岡歯科大学成育小児歯科学分野	pedoral@college.fdcnet.ac.jp
長崎小児歯科臨床医	堀内 礼子	池田 靖子	y1888@ae.aunoe-net.jp
小児歯科臨床を語る会	奥 猛志	長谷川大子	hasegawa@kodomo-dc.jp
福岡小児歯科集談会	二木 昌人	ふたつき子ども歯科	fc-dental@san.bbq.jp

日本小児歯科学会九州地方会会則

(平成23年10月10日一部改正)

第1条 本会は日本小児歯科学会九州地方会と称する。

第2条 本会は小児歯科を通じ地域の小児保健の向上に貢献するとともに必要とされる調査研究を行い発表と知識の普及を計ることを目的とする。

第3条 本会の事務局は別に定める所におく。

第4条 本会の会員は九州地区ならびに沖縄県に居住する日本小児歯科学会会員で構成する。

第5条 1. 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。

会長 1名

副会長 2名

常任幹事 5名

幹事 若干名

・庶務幹事、会計幹事、広報幹事は本部役員幹事とする。

・次期大会長、地方会推薦理事、本会理事長推薦理事は特別幹事とする。

・大学代表幹事と県代表幹事は一般幹事とする。

・監事 2名（議決権は有さないものとする）

2. 役員任期は、2か年とする。ただし再任は妨げない。

なお、役員は九州地区ならびに沖縄県に居住するものに限る。

第6条 1. 会長は本会を代表し、会務を統括する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長が職務を執行できない場合、職務を代行する。

3. 幹事は本会運営に参画し、本会の円滑な運営を計る。

4. 監事は会計および会務を監査する。

第7条 1. 次期会長および監事は、役員会が候補者を推薦し総会で決定する。

2. 県代表幹事は九州地区ならびに沖縄県から選出された代表者とし、その数は各県の会員数に照らし合わせて別に定める。

3. 大学代表幹事は5大学小児歯科講座

の推薦によって決定する。

4. 常任幹事は九州地区5大学歯学部小児歯科主任教授とする。

5. 次期役員は総会で決定する。

第8条 本会は毎年1回総会を開き会務の報告、会則の改正、役員を選出、会計報告ならびにその他の議事を決定する。

第9条 本会は毎年1回会員による発表ならびに教育的事業を行う。

第10条 本大会は当日会費を徴収できる。なお会費は開催主体が役員に提出し、裁決にて決定する。

第11条 本会には顧問をおくことができる。

第12条 本会の事務年度は4月1日より翌年3月31日迄とする。

第13条 会務の円滑な運営のため、内規を役員会で決めることができる。

第14条 第8条の規定にかかわらず付則2、内規の変更に限り、役員会において行うことができる。

(付則)

1. 本会則は昭和58年4月から施行する。

本会則は平成20年11月23日から改正施行する。

本会則は平成23年10月10日から改正施行する。

2. 本会の事務局は、令和2年4月1日より下記に置く。

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科
小児歯科学分野

日本小児歯科学会九州地方会事務局

T E L : 099-275-6262

F A X : 099-275-6268

(内規)

1. 役員会は現在の年2回から必要に応じて年3回開催する。

2. 九州地区各大学においては、現在地方会会長をまだされていない教授の方々が多くなってきていることより、当分の間は大学の教授と

開業医が交互に九州地方会会長として選出されることが望ましい。

3. 監事および副会長は大学、開業医からそれぞれ1名選出する。
4. 日本小児歯科学会への地方会推薦理事は会長が推薦し、役員会で承認する。
5. 一般幹事は、大学代表幹事（5名）と県代表幹事、福岡（2名）、長崎（1名）、熊本（1名）、大分（1名）、佐賀（1名）、宮崎（1名）、鹿児島（1名）、沖縄（1名）の計14名とする。
6. 幹事選出にあたっては、大学代表幹事は各大学の推薦による。また、各県代表幹事は各県下所属の会員による推薦によって選出する。ただし、推薦の結果や各県の事情によって決定に至らなかった場合は九州地方会会長に一任とする。将来においては、各地域において推

薦された人を対象として選挙を実施し決定する方向が望ましい。

7. 幹事としてその任に対して十分にその責任を遂行できないと判断された場合は、九州地方会会長は注意勧告することが出来る。さらに改まらない時は役員会の合意を得て、推薦団体に対して責任を果たせる人選を依頼することができる。
8. 九州地方会本会からの大会援助金は一律50万円とし、大会長の要請があれば支出することができる。
9. 大会前日の役員会会議費は九州地方会会計から支出することとする。
10. 歯科医師の当日会費は一律5,000円とする。
11. 学会活動の活性化のため、大会開催以外の予算措置を含めた事業計画を立案し、役員会の承認により実施する。

物故会員

牧 憲司 先生

九州歯科大学健康増進学講座口腔機能発達学分野 教授

藤原 卓 先生

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻 教授

令和4、5年公益社団法人日本小児歯科学会九州地方会役員名簿

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属	
会長	空田 安博	(福岡)	特別幹事 (理事長推薦理事)	西田 郁子	(九州歯科大学)	
副会長、常任幹事	福本 敏	(九州大学)		石谷 徳人	(鹿児島)	
副会長	今村 均	(福岡)	会計幹事	佐伯 桂	(九州歯科大学)	
常任幹事	岡 暁子	(福岡歯科大学)	広報幹事	藤田 優子	(九州歯科大学)	
			県代表幹事	板家 智	(福岡)	
		福島 直樹		(福岡)		
大学代表幹事	小笠原貴子	(九州大学)		舩元 康浩	(佐賀)	
	馬場 篤子	(福岡歯科大学)		堀内 礼子	(長崎)	
	田上 直美	(長崎大学)		宮崎 修一	(熊本)	
	稲田 絵美	(鹿児島大学)		木船 敏郎	(大分)	
大学代表幹事 (事務局庶務幹事)	渡辺 幸嗣	(九州歯科大学)		井上浩一郎	(宮崎)	
				宮川 尚之	(鹿児島)	
特別幹事 (地方会推薦理事)	空田 安博	(福岡)		監事	竹島 勇	(沖縄)
	柳田 憲一	(福岡)			山崎 要一	(鹿児島大学)
	宮川 尚之	(鹿児島)	尾崎 正雄		(福岡歯科大学)	

編集後記

令和4年3月31日、そして4月26日、小児歯科の発展に尽くされたお二人の教授が相次いでご逝去されました。個性豊かで、世代を超えて愛されたお二人でした。先生たちの仕事に対する熱意とひたむきに挑戦していく姿勢は、これからも全国各地で活躍する教え子たちへ引き継がれていくことと思います。牧 憲司先生、藤原 卓先生のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

最後にお忙しい中、多くの原稿をお寄せいただきました先生方に心より感謝申し上げます。

藤田 優子

発行／令和4年8月31日

事務局／日本小児歯科学会九州地方会事務局(令和4年度)

〒803-8580 北九州市小倉北区真鶴2-6-1 九州歯科大学健康増進学講座口腔機能発達学分野内

TEL : (093) 582-1131 (内線1906) FAX : (093) 583-5383

印刷所／日昌印刷株式会社